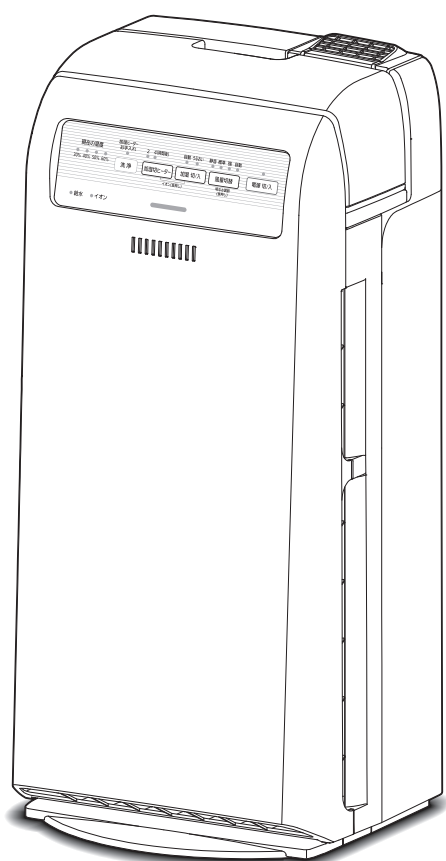


加湿空気清浄機

RHF-404

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見るできるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用前に

安全上の注意	2
使用上の注意	5
各部の名称	6

取り扱いかた

準備	8
使いかた	11
お手入れ	13

こんなときには

別売品	19
故障かな？と思ったら	20
仕様	22
保証とアフターサービス	23
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。



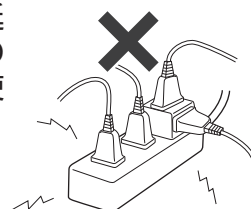
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、はさみ込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



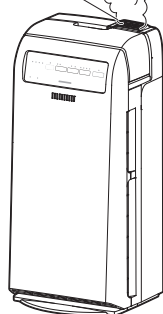
- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



接触禁止

- 蒸気口に手や顔を近づけない
やけどのおそれがあります。特に乳幼児には注意してください。

蒸気口



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- ・ 異常な音やにおいがする
- ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・ 運転中時々電源が切れる
- ・ 触れるとピリピリ電気を感じる
- ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 吹き出し口や吸気口に指や金属などの異物を入れない
感電やけがの原因になります。



- 屋外で使用しない
故障してショートや火災の原因になります。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しない
- 水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けが・やけどの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
- スプレーをかけない
（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

水タンクの水について



- 毎日新しいものに取り替える
水タンクは毎日振り洗いし、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発したり健康を害する原因になります。
- 1週間以上使用しない場合は、必ず水タンク及び本体内の水を捨てる
水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。
- 凍結しそうなときは、水タンク及び本体内の水を捨てる
凍結すると、故障・水もれにより周囲の汚損の原因になります。



- 水道水以外は使用しない
40℃以上の水・化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。



- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
空気清浄機内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。
殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。

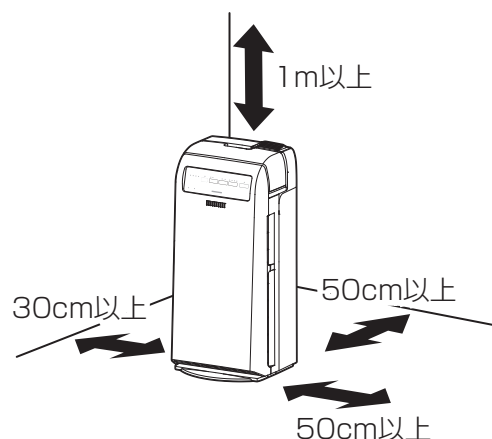


- 燃焼器具と一緒に使う場合は換気する
一酸化炭素中毒の原因になります。
※ 本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去するものではありません。

設置について



- 空気清浄機の風や加湿器の蒸気が、壁や家具、カーテン、電気製品などに直接当たらないところに設置する
- 設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を空ける
家具や壁、カーテンなどの汚損の原因になります。また、電気製品に結露したり水のミネラル分が付着したりすると、電気製品の故障の原因になります。
空気清浄機の吹き出し口や加湿器の蒸気口は、家具や壁、カーテン、電気製品などの方向へ向けなくてください。



- 水平で安定した床の上で使用する
毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置すると、転倒して火災の原因になります。
また、台の上に設置すると、落下してけがや火災の原因になります。



- 暖房機・テレビ・ホットカーペットなど電気製品の上に設置しない
転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。

安全上の注意 つづき



- 吸気口・吹き出し口・蒸気口をふさがない
過熱による変形・故障・火災の原因になります。



火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
火災の原因になります。
- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
火災の原因になります。



- 乗ったり、寄りかかったりしない
- 幼児の手の届く範囲では使用しない
- 子供に遊ばせない
転倒によるけがの原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 水タンクに水が入ったまま移動しない
水タンク・加湿器内部に水が入った状態で移動すると、斜めになったときに水がもれて周囲の水ぬれの原因になります。
移動するときは、水タンク・加湿器内部の水を捨ててください。

● 転倒させない

水もれや火災の原因になります。
転倒して水がもれたときは、十分に乾燥させ、安全を確かめた上で使用してください。
万一電源が入らない場合は、アイリスコールにご連絡ください。



- 移動するときは、本体背面の取っ手が底を持つ
水タンクやフロントパネルを持つと、外れて落下するおそれがあります。また、水が入っているときは移動しないでください。

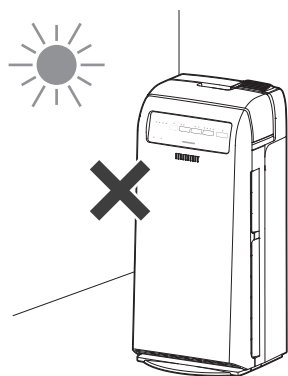


- 水タンクや加湿器の部品を正しく取り付け
水もれや周囲の水ぬれの原因になります。
- 空気清浄機のフィルターは正しく取り付け、フロントパネルは確実に閉める
フロントパネルやフィルターが外れて、落下によるけが・家財の破損の原因になります。

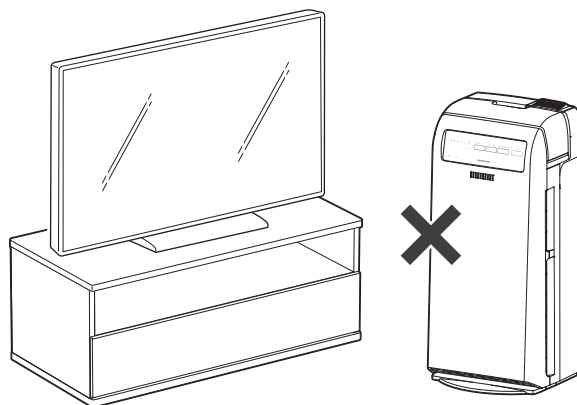
使用上の注意

- フィルターを外したまま運転しないでください。
清浄効果が出ません。また、故障の原因になります。
- 破れたり、破損したフィルターは使わないでください。
故障・性能低下の原因になります。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。
- 換気扇のかわりに使わないでください。
- 食用油など油成分の浮遊している場所で使わないでください。
フィルター寿命が低下したり、故障の原因になります。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しないでください。
変形・変色したり、誤動作することがあります。
また、水タンクの温度が上昇して水もれの原因になります。



- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには置かないでください。
正常に動作しないことがあります。

使用環境について

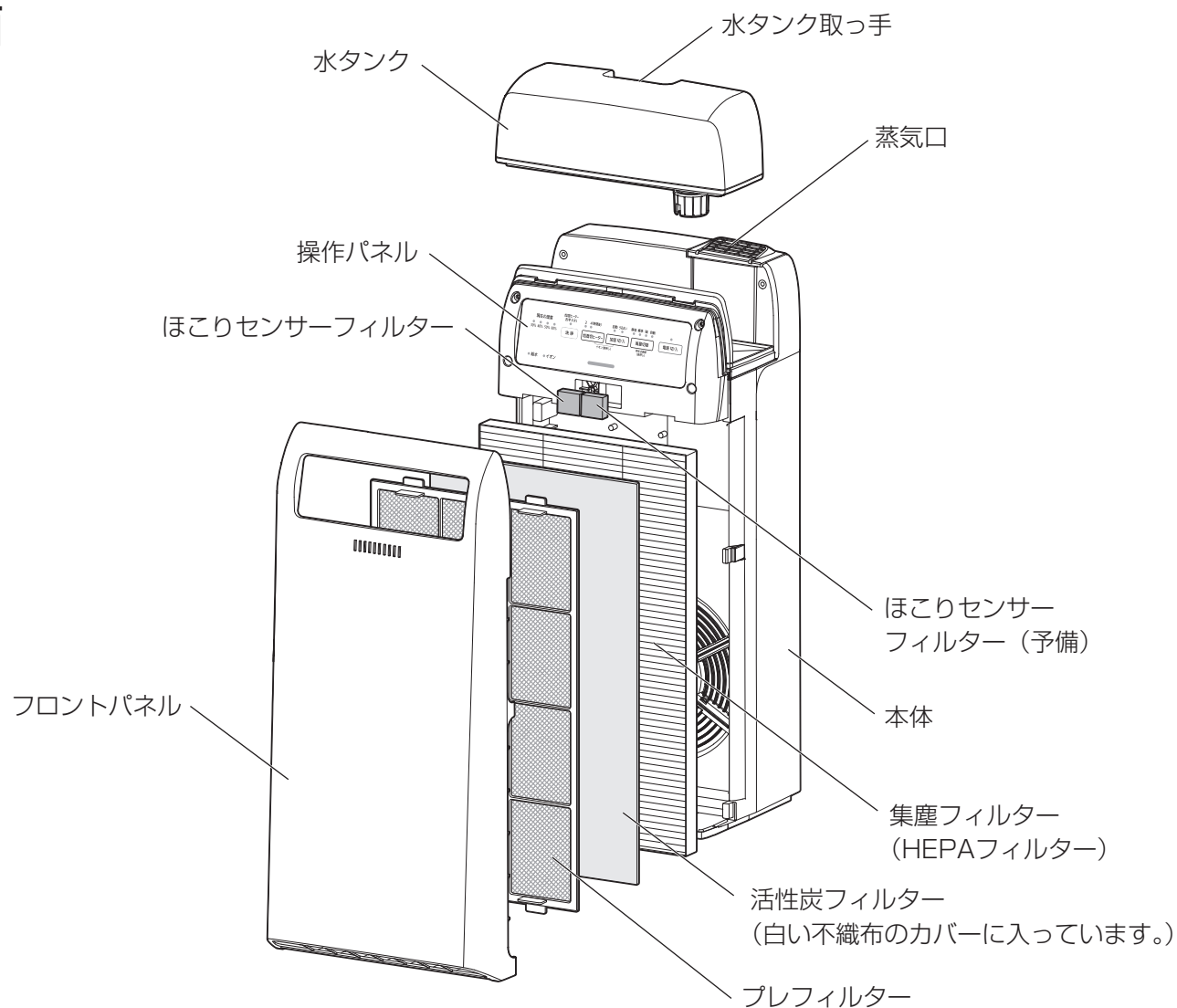
- 室温は5 ～ 35℃で使用してください。
室温が低いと床ぬれや結露がおこりやすくなります。
加湿モードを切り替えたり、室温を上げたりして使用してください。
また、窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。
- 空気清浄機の周囲の壁などが汚れることがあります。
同じ場所で長時間使用する場合は、汚れが気になりだす前に周囲の壁などを掃除してください。
- 観葉植物などに空気清浄機の風が直接当たらないようにしてください。
植物がしおれることがあります。

廃棄について

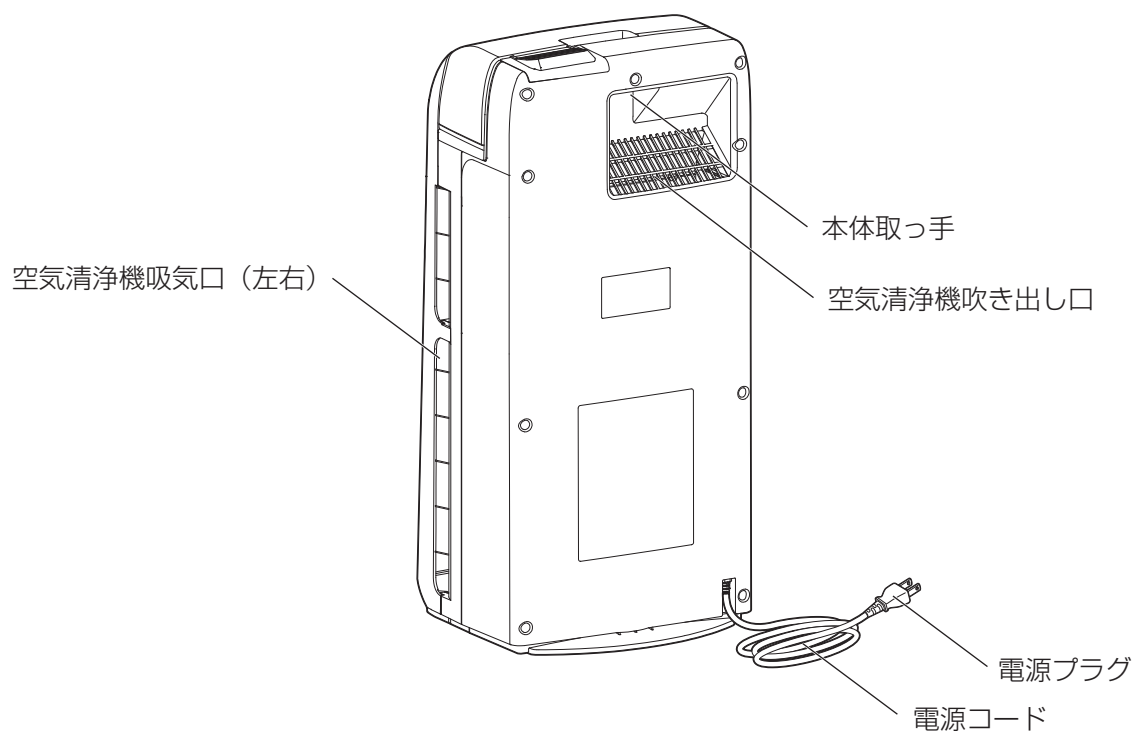
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称

■正面



■背面



■操作パネル

加湿ヒーターお手入れランプ・洗浄ボタン
加湿ヒーターのお手入れ時期になると点灯します。

洗浄 ボタンを押して加湿ヒーターを洗浄するとランプは消灯します。
(→P16～19)

風量切替ランプ・ボタン

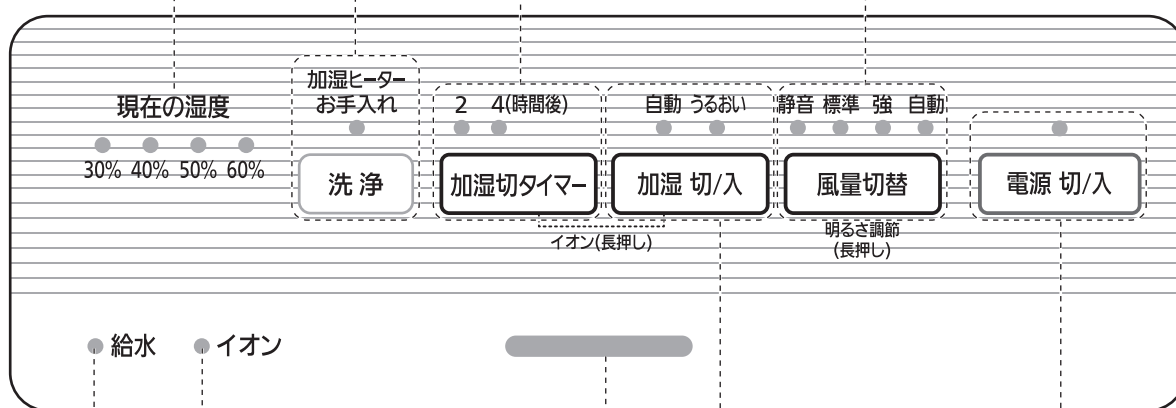
空気清浄機の風量を切り替えます。
電源が入ると、停止したときと同じモードで運転が始まります。ボタンを押すたびに **静音→標準→強→自動** と切り替わります。(→P11)
運転中に長押しすると、ランプの明るさを変更することができます。(→P12)

現在の湿度表示

現在の湿度を計測して表示します。
最適な湿度になるように、加湿モードを切り替える目安になります。

加湿切タイマーランプ・ボタン

タイマーで加湿を停止する時間を設定します。ボタンを押すたびに **2→4 (時間後)→タイマー解除 (消灯)** と切り替わり、タイマーがスタートします。(→P11)



イオンランプ

イオン発生中に点灯します。
イオン発生は、**加湿切タイマー** ボタンと**加湿 切/入** ボタンを同時に3秒間長押しすると、切/入できます。
(→P12)

加湿 切/入ボタン・ランプ

加湿の運転を切り替えます。ボタンを押すたびに **自動→うるおい→切 (消灯)** と切り替わります。(→P11)
加湿を停止しても、空気清浄機は運転をつづけます。

給水ランプ

水タンクが空になると点灯して、加湿を停止します。水タンクに給水してセットし、**加湿 切/入** ボタンで加湿のモードを選ぶと、消灯して加湿を再開します。(→P12)

ほこりセンサーサイン

センサーで計測した空気の汚れ具合をランプの色で表示します。
(→P12)

電源 切/入ボタン・ランプ

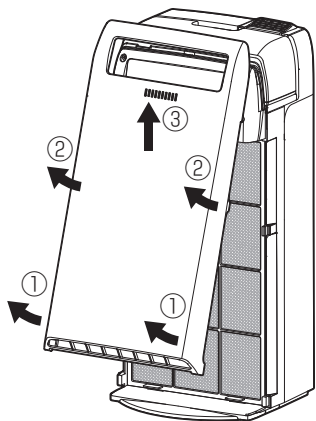
電源を入/切します。

■フィルターの取り付け

電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずフィルターの取り付けを行ってください。

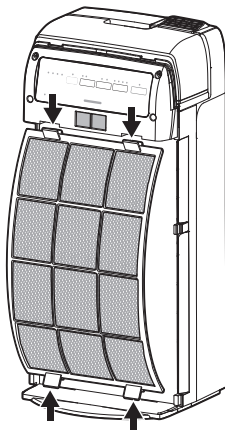
1 フロントパネルを外す

- ・フロントパネル中央と下側の側面を手前に引いて外し (①②)、上方に持ち上げてください (③)。

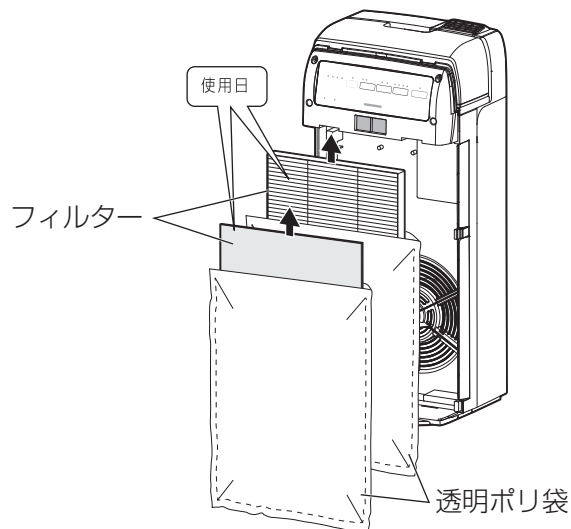


2 プレフィルターを外す

- ・上側のつまみ (2か所) を下に引くか、下側のつまみを上に引いて外します。



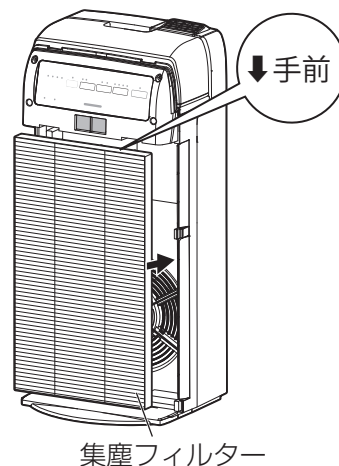
3 空気清浄機内部から活性炭フィルターと集塵フィルターを外し、透明ポリ袋から取り出して、使用開始日を記入する



- 品質保持のため、フィルターは透明ポリ袋に入ったままになっています。使用開始前に、必ず透明ポリ袋から取り出してください。
- 活性炭フィルターの白い不織布のカバーは破かないでください。

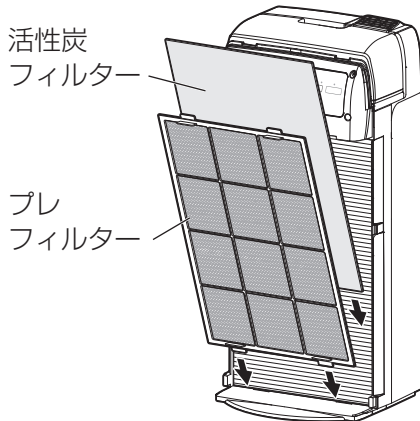
4 集塵フィルターを取り付ける

- ・必ず、集塵フィルターを先に取り付けてください。
※活性炭フィルターを奥に入れると、支えがないので変形します。
- ・集塵フィルターは ↓(手前) の向きがフロントパネル側になるように取り付けます。
※集塵フィルターを裏返しに取り付けると、集塵性能が完全に発揮できません。



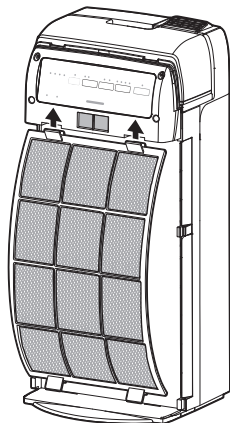
5 活性炭フィルターを取り付ける

- プレフィルターの下側のつめを差し込み、プレフィルターと集塵フィルターの間に活性炭フィルターをはさみ込みます。
- 活性炭フィルターは、表裏の区別はありません。
- プレフィルターは上下の区別はありません。



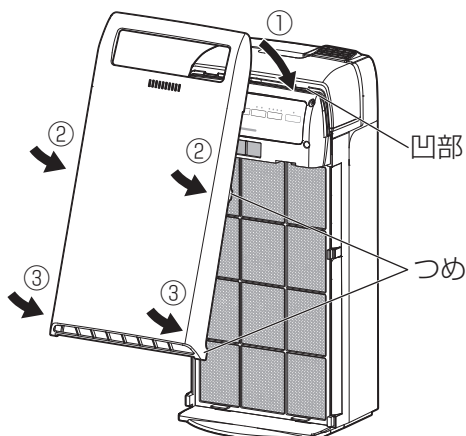
6 プレフィルターを取り付ける

- 上側のつめ (2か所) を本体側の穴に差し込みます。



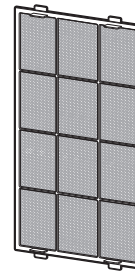
7 フロントパネルを取り付ける

- フロントパネル上方のつめを本体上方の穴に引っかけ (①)、中央と下側の側面のつめがパチンとはまるように押し込みます (②③)。



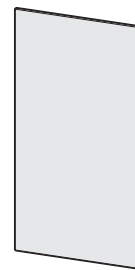
■ フィルターで捕集できるもの

プレフィルター



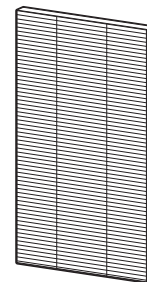
ペットの毛、ほこり・ちり

活性炭フィルター



たばこ・ペット・その他生活全般のにおい

集塵フィルター (HEPAフィルター※)



たばこの煙、花粉やアレル物質、かびの胞子など

※ HEPAフィルターについて

0.3 μ m (マイクロメートル) のちりやほこりを99.97%捕集する性能を有しています。

(JIS B9908 (換気用エアフィルタユニット・換気用電気集じん器の性能試験方法) に準じた試験方法による)

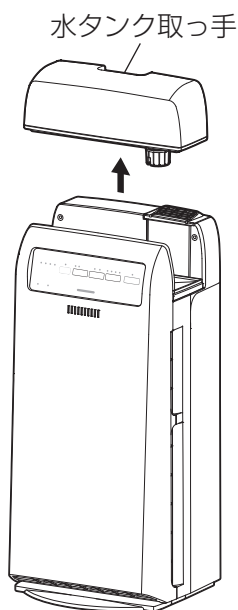
※ フィルター単体の性能であり、実使用空間での性能ではありません。

■水タンクに給水する

加湿運転するときは、水タンクに給水してください。
※ 空気清浄運転だけのときは、水タンクに給水の必要はありません。

1 水タンクを外す

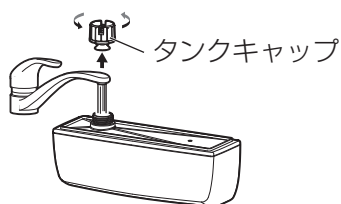
- ・ 水タンク取っ手を持ち、上に持ち上げてください。



注意

- 水タンクを勢いよく引き上げないでください。水タンクの底やキャップに付いた水が飛び散って周囲がぬれることがあります。
- 操作パネルに水が付いたときは、すぐに拭き取ってください。

2 タンクキャップを外し、水道水を水タンクに入れる

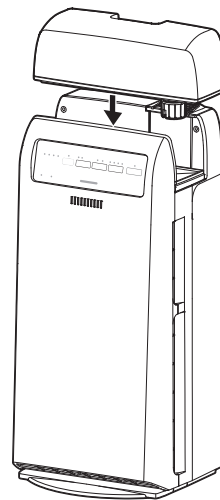


注意

- 必ず水道水を使用してください。40℃以上の水・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。
- 水に薬品・香料・精油などを入れないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水ぬれや周囲の汚損の原因になります。

3 タンクキャップをしっかりと閉め、水タンクを本体にセットする

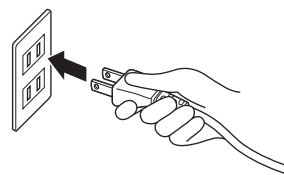
- ※ 水タンクをセットするときは上から落とさないで、ゆっくりセットしてください。破損の原因になります。
- ※ 水タンクが斜めにセットされないように注意してください。



注意

- タンクキャップは確実に閉めてください。タンクキャップが斜めになっていたり、ゆるんでいたりすると、水がこぼれて感電・火災・周囲の汚損の原因になります。

■電源プラグをコンセントに差し込む



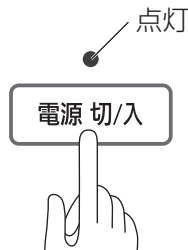
注意

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・やけど・けがの原因になります。

使いかた

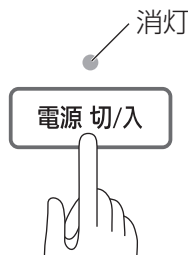
■ 運転を開始するには

- ・電源 切/入ボタンを押すと、電源ランプが点灯し、停止したときと同じモードで空気清浄機の運転を開始します。
- ・加湿をする場合は、加湿 切/入ボタンを押して加湿モードを選んでください。



■ 運転を停止するには

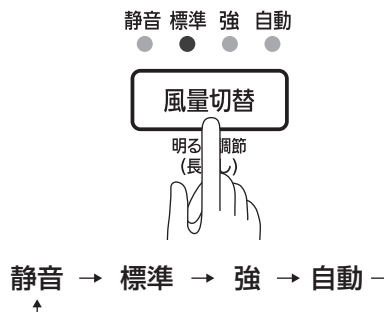
- ・運転中に電源 切/入ボタンを押すと、電源ランプが消灯し、運転が停止します。



● 長期間使用しないときは水タンクと本体内の水を捨ててください。(→P13～14)

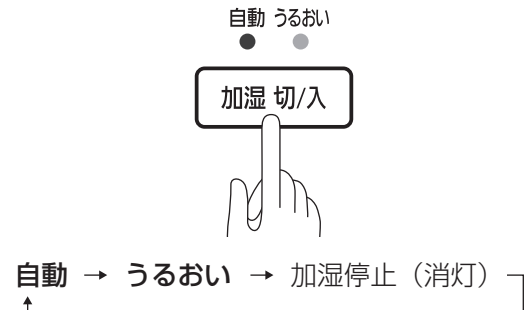
■ 空気清浄風量の切り替え

- ・運転中に風量切替ボタンを押すと、次のように風量が切り替わります。



■ 加湿モードの切り替え

- ・運転中に加湿 切/入ボタンを押すと、次のように加湿のモードが切り替わります。
- ※ 給水ランプが点灯しているときは、加湿 切/入ボタンを押しても加湿になりません。



自動

目標湿度を約50%に設定して、加湿量を自動で調節します。(湿度が約50%に達すると加湿を停止し、湿度が下がると加湿を再開します。)

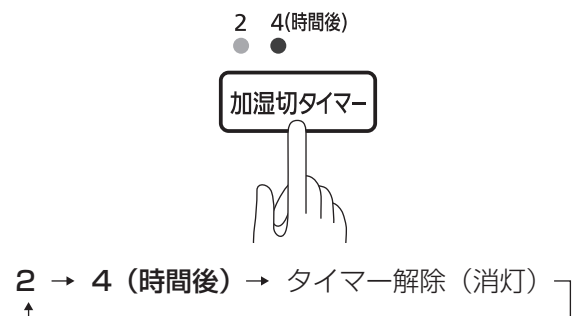
うるおい

連続で加湿します。
うるおいが足りないと感じたときなどに使用します。

■ 加湿切タイマー

タイマーで加湿を停止する時間を設定します。

- ・加湿切タイマーボタンを押すたびに表示ランプが切り替わり、加湿の切タイマーがスタートします。
- ・加湿が停止しているときに加湿切タイマーボタンを押すと、自動モードで加湿が始まり、タイマーがスタートします。



- ・切タイマーで設定した時間が経過すると、加湿が停止します。

※ 空気清浄機は運転をつづけます。

■ 給水ランプが点灯したら

- 加湿中に水タンクの水がなくなると、加湿が停止してアラームが鳴り、**給水ランプ**が点灯します。(加湿のモードのランプは消灯します。)
- 給水ランプ**が点灯しても、空気清浄機は運転をつづけます。



- 水タンクに給水し(→P10) 本体にセットして、水タンクの水が加湿器に供給されるまで少しお待ちください(タンクキャップのゴボゴボ音が消えるまで)。
- 加湿 切/入**ボタンで加湿のモードを選ぶと、加湿を再開します。(給水ランプは消灯します。)

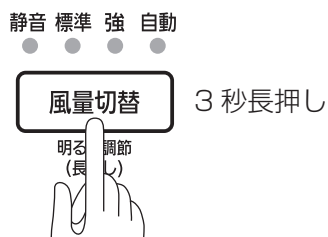


- ※ 水タンクをセットしても、加湿器内に水が十分に供給されないと、**加湿 切/入**ボタンを押しても加湿が始まらないことがあります。
- ※ 加湿器内に水が残っているときは、水タンクを取り外しても、**給水ランプ**は点灯せず、加湿運転は停止しません。
- 加湿運転を停止する場合は、**加湿 切/入**ボタンまたは**電源 切/入**ボタンで停止してください。
- ※ 点灯している**給水ランプ**を消灯させたいときは、**電源 切/入**ボタンを押して電源を切ってください。

■ ランプの明るさ調節

就寝時などに、操作パネルのランプの明るさを減少させることができます。

- 運転中に**風量切替**ボタンを3秒間長押しすると、ランプの明るさが減少します。



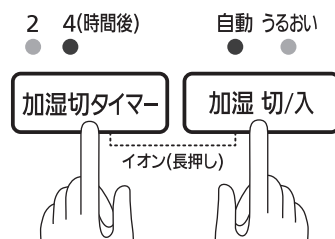
- 再度**風量切替**ボタンを3秒間長押しすると、ランプの明るさは元に戻ります。
- 電源プラグを抜き差ししたときは、ランプの明るさ調節は記憶されません。

■ イオン

- 本製品はイオン発生器を内蔵しています。運転を開始するとイオンを発生します。
- イオン発生中は、**イオンランプ**が点灯します。



- イオン発生を停止するには、**加湿切タイマー**ボタンと**加湿 切/入**ボタンを同時に3秒間長押ししてください。**イオンランプ**が消灯して、イオン発生は停止します。



- イオンを再び発生させるには、**加湿切タイマー**ボタンと**加湿 切/入**ボタンを同時に3秒間長押ししてください。**イオンランプ**が点灯すると、イオンが発生します。

■ ほこりセンサーサイン

センサーで計測した空気の汚れ具合をランプの色で表示します。



ほこりセンサーサインの色	空気の汚れ具合
青	きれい
赤	汚れている

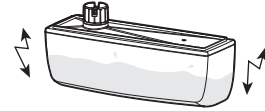
お手入れ

- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

■水タンク 毎日

水タンクに少量の水を入れ、タンクキャップを閉めて振り洗いしてから、内部の水を捨てる

※汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤分が残らないようにしっかりすすいでください。



注意

- 水タンクを勢いよく引き上げないでください。水タンクの底やキャップに付いた水が飛び散って周囲がぬれることがあります。
- 操作パネルに水が付いたときは、すぐに拭き取ってください。

■センサーの感度を設定する

センサーの感度を設定します。ほこりモニター画面のライトが赤のまま変わらないときや、たびたび赤になるときに使用します。

必ず電源を切ってから行ってください。

1 電源を切った状態で加湿 切/入ボタンを長押しする

- ・「ピピピッ」と鳴って、感度設定モードになります。



2 風量切替ボタンを押してお好みの感度を選ぶ

- ・ボタンを押すたびに以下のように感度が切り替わります。
- ・設定は10秒以内に行ってください。10秒経つと、「ピピピッ」と鳴って自動的に調整は終了します。
- ・工場出荷時は**LV1 静音**に設定されています。

静音 標準 強 自動



(感度 1) (感度 2) (感度 3) (感度 4)
静音 → 標準 → 強 → 自動

3 電源 切/入 ボタンを押す

- ・「ピー」と鳴って、感度が確定します。



お手入れ つづき

■加湿器内部 2週間に1回程度



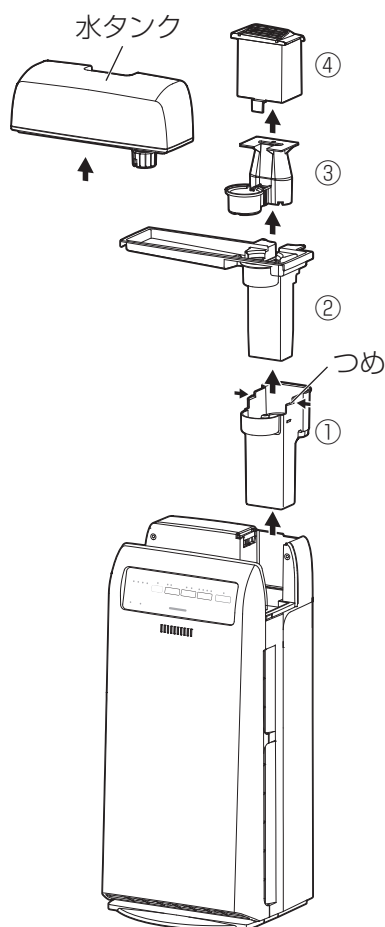
注意

- 加湿器内部をお手入れするときは、電源を切り、加湿器内部が十分に冷めてから行ってください。

1 水タンク・④加湿筒・③安全カバー・②加湿トレー・①カップの順に取り外す

- ・カップは両脇のつめを内側に押して外し、上に引き上げてください。

※水がこぼれないように、カップはまっすぐに静かに引き上げてください。

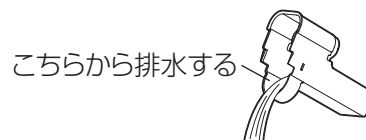


注意

- 水タンクを勢いよく引き上げないでください。水タンクの底やキャップに付いた水が飛び散って周囲がぬれることがあります。
- 操作パネルに水が付いたときは、すぐに拭き取ってください。

2 カップに残っている水を捨てる

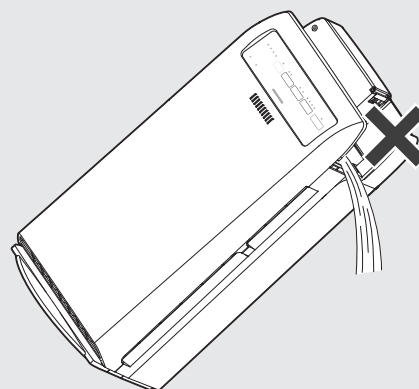
- ・カップには加湿ヒーター用の穴があいています。穴から水がもれないように、穴の反対側から排水してください。



- 本体を傾けて排水しないでください。水がこぼれて周囲を汚損する原因になります。

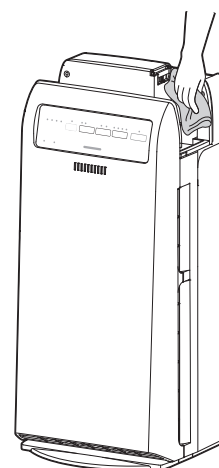


注意

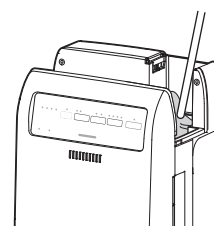


3 柔らかい布で本体内部の汚れを拭き取る

- ・加湿ヒーター・加湿器内部は、残った水をよく拭き取ってください。

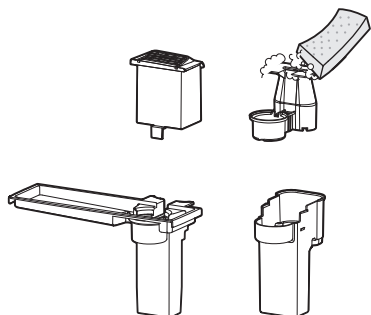


- ・加湿器内部の奥のほうは、柔らかい布などを入れて、棒などを使用して、水を拭き取ってください。



※加湿ヒーター周辺にこびりついた汚れが落ちにくい場合は、「加湿ヒーターお手入れ」(→P16～19)を行ってください。

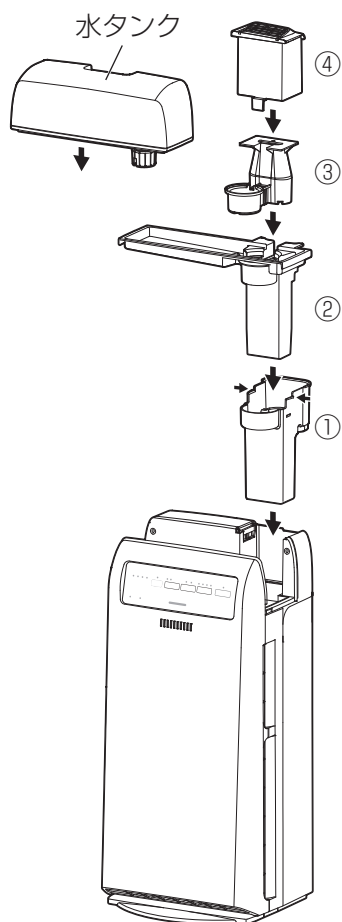
4 加湿筒・安全カバー・加湿トレー・カップをスポンジなどで洗う



・組み立てる前によく乾かしてください。

5 元どおりに組み立てる

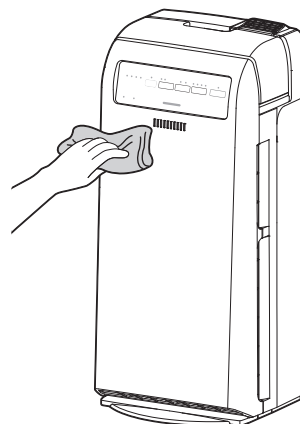
・①カップ、②加湿トレー、③安全カバー、④加湿筒、水タンクの順に取り付けてください。



●部品を取り付けるときは、必ず順番を守り、付け忘れないようにしてください。取り付けが正しくないと、水もれや誤動作の原因になります。

■本体 1か月に1回程度

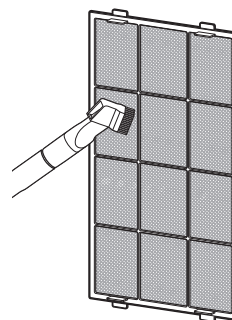
・水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取る



- 本体には水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。

■プレフィルター 1か月に1回程度

・プレフィルターにごみがたまると風量が低下します。フロントパネルを開け、プレフィルターを取り出して、掃除機などでごみを吸い取ってください。

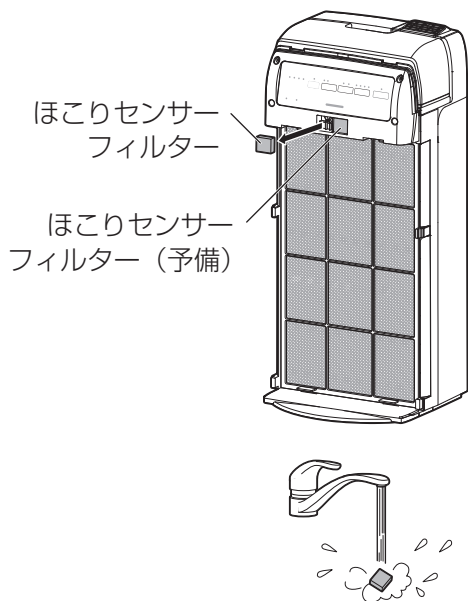


- 集塵フィルター・活性炭フィルターはお手入れできません。掃除機で吸ったり、水洗いしたりしないでください。強く押したり、まるめたりしないでください。破損するおそれがあります。集塵フィルターは、破れると清浄効果が失われます。
- ※プレフィルターが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。

■ほこりセンサーフィルター

1か月に1回程度

- ほこりセンサーフィルターにごみがたまると、ほこりセンサーの誤動作の原因になります。フロントパネルを開け、ほこりセンサーフィルターを取り出して、ほこりをはたくか、水洗いしてください。
- 水洗いした後は、よく水を切り、よく乾かしてから取り付けてください。



■加湿ヒーターお手入れ

加湿ヒーターお手入れランプが点灯したら

使用にともない、水の中に含まれるミネラル分が濃縮されて加湿ヒーターに付着します。これが固まると、加湿量が低下したり、加湿ヒーターの温度が上がりすぎて安全装置が働いてしまうなどの原因になります。

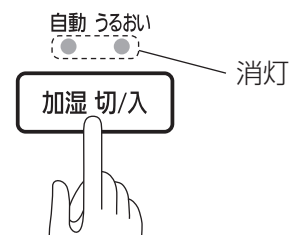
- 加湿ヒーターお手入れランプが点灯したら、加湿ヒーターのクエン酸洗浄を行ってください。



- 加湿ヒーターお手入れランプが点灯していなくても、加湿ヒーターのお手入れは可能です。

1 加湿 切／入ボタンで加湿を停止にする

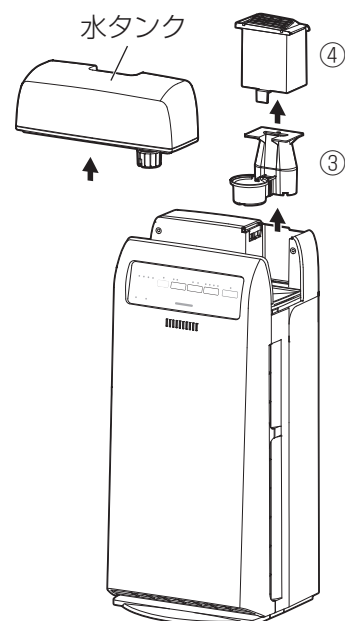
- 加湿モードのランプが消灯します。
- 空気清浄機は運転をつづけます



注意

- 加湿器の使用直後は、加湿器内の加湿ヒーターや水は熱くなっています。冷めるまでしばらく待ってからお手入れしてください。

2 水タンク・④加湿筒・③安全カバーの順に取り外す



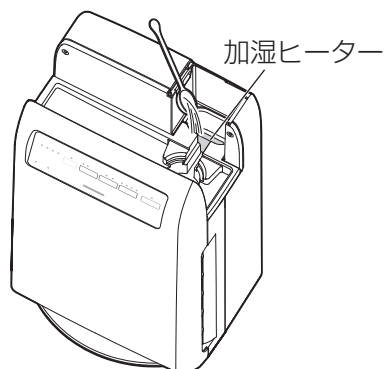


注意

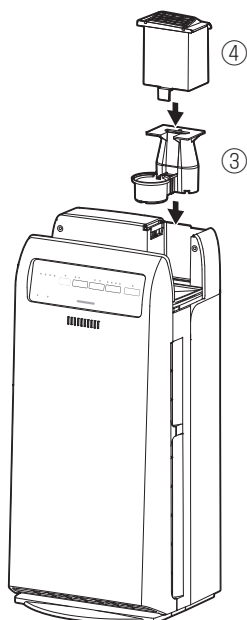
- 水タンクを勢いよく引き上げないでください。水タンクの底やキャップに付いた水が飛び散って周囲がぬれることがあります。
- 操作パネルに水が付いたときは、すぐに拭き取ってください。

3 クエン酸を投入する

- ・ 加湿ヒーター部分に、クエン酸**5g** (小さじ 約1杯) を投入してください。
- ※ クエン酸は、薬局・ドラッグストアなどで市販されています。



4 ③安全カバー・④加湿筒の順で元に戻す

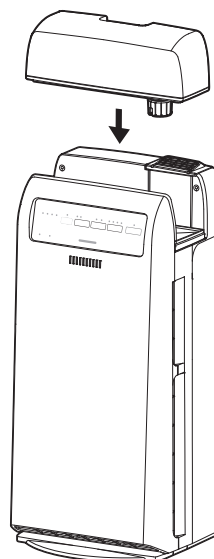


注意

- 部品を取り付けるときは、必ず順番を守り、付け忘れのないようにしてください。取り付けが正しくないと、水もれや誤動作の原因になります。

5 水タンクに給水して、取り付ける

- ・ 水タンクに満水まで給水してから取り付けてください。

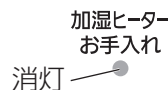


6 洗浄ボタンを押す

- ・ 約2時間加湿ヒーターに通電して洗浄します。
- ・ 洗浄中は加湿ヒーターお手入れランプが点滅します。



- ・ 洗浄中でも空気清浄機の運転は停止しません。
- ・ 洗浄中は加湿器の操作はできません。
- ・ 途中で洗浄を停止するには、**電源 切/入**ボタンを押して電源を切ってください。
- ・ 洗浄が終了すると、**加湿ヒーターお手入れ**ランプが消灯し、ブザーが鳴ってお知らせします。



注意

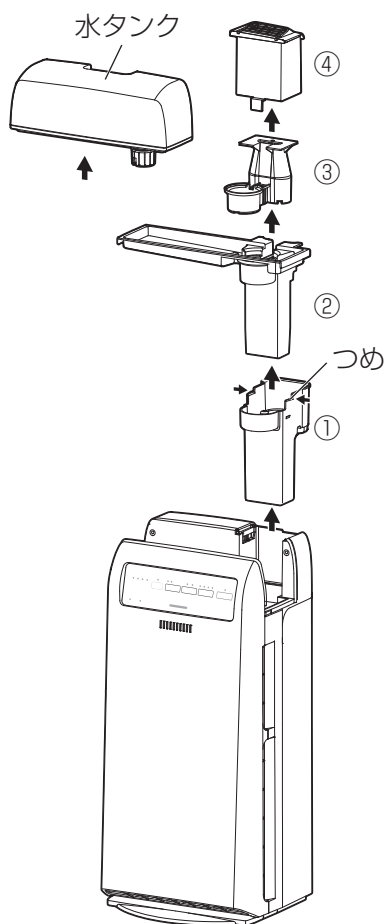
- 使用した水溶液や加湿器内部は熱くなっているので、必ず電源を切り、十分に冷えてから、排水やお手入れをしてください。

お手入れ つづき

7 水タンク・④加湿筒・③安全カバー・②加湿トレー・①カップの順に取り外す

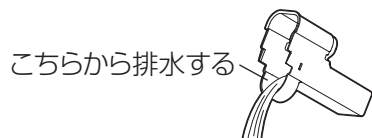
- カップは両脇のつめを内側に押して外し、上に引き上げてください。

※水がこぼれないように、カップはまっすぐに静かに引き上げてください。



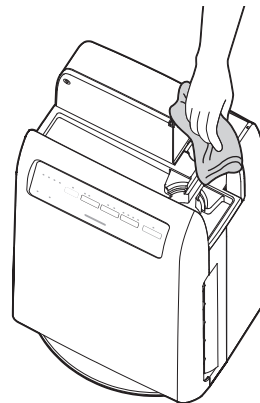
8 カップに残っている水を捨てる

- カップには加湿ヒーター用の穴があいています。穴から水がもれないように、穴の反対側から排水してください。



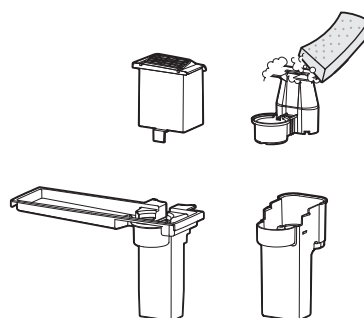
9 本体に残った水を拭き取る

- ティッシュペーパー・キッチンペーパーなどで、よく拭き取ってください。
- 加湿ヒーターに汚れが残っている場合は、拭き取ってください。
- 組み立てる前によく乾かしてください。



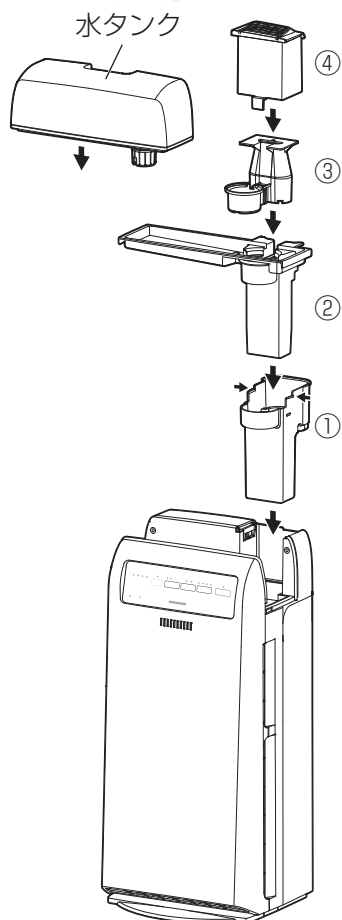
10 加湿筒・安全カバー・加湿トレー・カップをスポンジなどで洗う

- 洗った後、水でよく流し、水気を切って、よく乾かしてください。



11 元どおりに組み立てる

- ①カップ、②加湿トレー、③安全カバー、④加湿筒、水タンクの順に取り付けてください。



- 部品を取り付けるときは、必ず順番を守り、付け忘れのないようにしてください。取り付けが正しくないと、水もれや誤動作の原因になります。

※ 1回の洗浄で汚れが取りきれない場合は、もう一度同じ手順で洗浄を行ってください。(→P16～19)

■ 空気清浄機フィルターの交換

2年に1回

空気清浄機の活性炭フィルターと集塵フィルターは消耗品です。以下の時期を目安に新しいものに交換してください。

交換の目安※1	
活性炭フィルター	約2年
集塵フィルター	約2年

※1 たばこを1日平均5本吸った場合(「(一社)日本電機工業会規格JEM1467」に基づく試験により算出)

※ 活性炭フィルターは、においが取れなくなったら交換の時期です。

※ 設置場所や使いかたによっては交換時期が早くなることがあります。

- ・ 別売品(下記)を購入し、8ページの「準備」の手順にしたがって交換してください。

※ 交換するときは、汚れが飛び散らないように、新聞紙などを敷いて行ってください。

■ フィルターの廃棄について

古いフィルターは自治体の取り決めにしたがって処理してください。

活性炭フィルターの材質

不織布: ポリプロピレン、脱臭剤: 活性炭

集塵フィルターの材質

ポリプロピレン、ポリエステル

別売品

■ 集塵フィルター (HEPA フィルター)

品番: RHF-401HF

■ 活性炭フィルター (生活臭用)

品番: RHF-401TF

- 別売品についてはお買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれてない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
空気清浄機から風が少ししか出ない	●フィルターが透明ポリ袋に入ったままになっている	●フィルターを透明ポリ袋から出して、正しく取り付けてください。(→P8)
音が大きい		
においや煙が取れない		
においや煙が取れない	●フィルターを付け忘れている	
フィルター交換時期に達する前に、においや煙が取れにくくなった	●空気中の汚れが通常の家庭より多い環境で使用している	●早めにフィルターを交換してください。(→P19)
振動する	●不安定な場所に設置してある	●水平で安定した場所に設置してください。
加湿されない	●加湿モードが、切になっている(自動・うるおいとも消灯)	●加湿 切/入ボタンを押して、自動かうるおいを選んでください。
	●目標湿度に達している	●自動は50%を目標にしています。加湿モードが自動で、さらに加湿したいときは、うるおいを選んでください。
加湿されない(給水ランプが点灯している)	●水タンクの水を使い切った	●水タンクに給水してセットし、加湿器内に水が供給されたら、加湿 切/入ボタンで加湿のモードを選んでください。(→P12)
	●水タンクがきちんとセットされていない	●水タンクをきちんとセットしてください。
加湿 切/入ボタンを押しても給水ランプが消灯しない(加湿しない)	●水タンクから加湿器内に水が十分供給されていない	●水タンクに満水まで給水し、本体にセットしてから、タンクキャップのゴボゴボ音が消えるまで待って、加湿 切/入ボタンを押してください。
イオンランプが消灯している	●イオン発生が切になっている	●加湿切タイマーボタンと加湿 切/入ボタンを同時に3秒間長押しして、イオン発生を入にしてください。



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● 自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

電源		AC100V	
定格周波数		50Hz	60Hz
消費電力	空気清浄（静音）	17W	18W
	空気清浄（標準）	31W	37W
	空気清浄（強）	51W	62W
	空気清浄（強）+加湿	360W	372W
風量	空気清浄（静音）	1.4m ³ /分	1.2m ³ /分
	空気清浄（標準）	2.6m ³ /分	2.3m ³ /分
	空気清浄（強）	3.5m ³ /分	3.5m ³ /分
運転音	空気清浄（静音）	31dB	30dB
	空気清浄（標準）	36dB	37dB
	空気清浄（強）	40dB	40dB
	空気清浄（強）+加湿	41dB	41dB
空気清浄機の適用床面積※1		28m ² (17畳)	
加湿器の適用床面積（目安）	木造和室	8m ² (5畳)	
	プレハブ洋室	13m ² (8畳)	
加湿量（最大）		約300mL / h	
連続加湿時間※2		約7.6時間	
水タンク容量		約2.3L	
外形寸法（電源コードを除く）		幅297×奥行285×高さ649mm	
質量（水含まず）		6.5kg	
電源コード長		1.8m	

※1 「強」運転時（（一社）日本電機工業会規格JEM1467による）

※2 最大加湿量で連続加湿した場合

※ 適用床面積は、保証値ではありません。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用の加湿空気清浄機の点検を！		
愛情点検 	こんな症状はありませんか	● 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする ● 本体に触れるとピリピリ電気を感じる ● 運転中に異常な音がする ● 電源コードが傷ついている ● その他の異常や故障がある ▶ ご使用中止 故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

加湿空気清浄機 RHF-404

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品（フィルターなど）を除く	
お客様	お名前		※ 販売店
	ご住所 〒		
	電話（ ） -		
		住所・店名	
		電話（ ） -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関するお問い合わせ **アイリスコール 0120-311-564** (通話料無料) / 修理に関するお問い合わせ **修理専用コール 0800-170-7070** (通話料無料)
【お電話での受付時間】 平日 9:00～17:00、土日祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

633860
010920-KTK-KTK-01
P010920-KTK-QIU-01